R3.7.6

全国初！災害復旧現場での自動化施工
～マスコミ向け現場見学会を開催～

紀伊半島大水害から10年
-あの日の災害を忘れない-

～紀伊山系砂防事務所・大規模土砂災害対策技術センター～

　平成23年9月の紀伊半島大水害で深層崩壊が発生した赤谷地区では、これまでも再崩落が繰り返され施工中の二次災害が懸念されていました。これまで遠隔操作による「無人化施工」を実施してきましたが、6月23日からはプログラミングに基づき建設機械が自動で作業を行う「**自動化施工**」も導入し実施しています。

　この「**自動化施工**」は工事の安全確保に加え、省人化・工期短縮など、生産性の向上が期待されている技術であり、災害復旧現場では全国初の取り組みとなるため、マスコミ向けの現場見学会を開催しました。

＜開催日＞
令和３年７月６日（火） 14:00～15:45

＜参加者＞
新聞社９社、テレビ放送局３社　計20名

＜見学箇所＞
赤谷地区（奈良県五條市大塔町清水地先）

＜対応者＞
紀伊山系砂防事務所・鹿島建設株式会社

自動で動く重機たち

インタビューを受ける田村副所長

自動化施工の見学の様子

工事の概要を説明

操作室の見学の様子

見学会ではこんな質問が…

Q　何故、自動化施工を導入したのか？

A　再崩落を繰り返す非常に危険な現場のため、出水期間中(6月15日～10月31日)は立入禁止区域となることから、自動化施工により早期完成を目指す。

Q　「無人化施工」と「自動化施工」の違いは？

A　「無人化施工」は操作室にてモニターを見ながらコントローラーで無人の重機を動かす遠隔操作であり、「自動化施工」はプログラミングしたとおりに重機が自動で動くもの。

【問い合わせ先】　国土交通省 近畿地方整備局　紀伊山系砂防事務所　工務課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681　　TEL 0747-25-3111（代）